

九州の漁獲量は「さば類」などの「あおざかな」が半分以上です

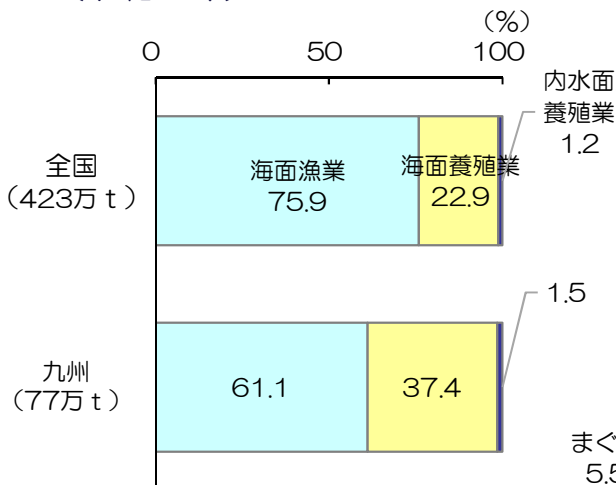
漁業・養殖業は、河川や湖沼などの淡水（内水面）でも行われていますが、全国・九州ともに海（海面）における生産量¹⁾が、多くを占めています。

九州の漁業経営体による²⁾海面漁業の漁獲量¹⁾は、「あおざかな」といわれる「さば類」「いわし類」「あじ類」の3種で全体の60%以上を占め、全国より高い割合となっています。

海面養殖業では、「のり類」が九州の収獲量¹⁾の半分以上を占め、次に多い「ぶり類」と合わせると、この2種で全体の80%以上を占めています。

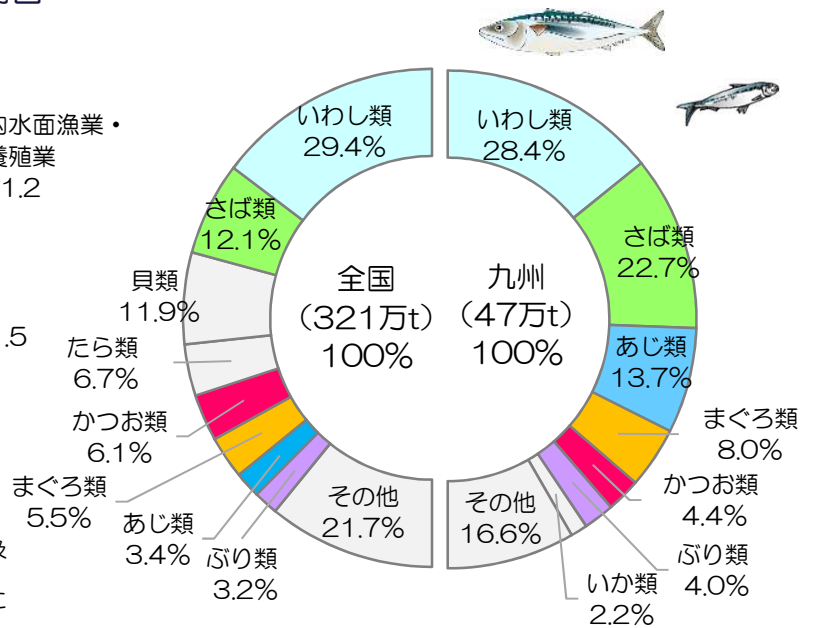
内水面漁業・養殖業については、全国に比べ漁業の生産量の割合が小さく、うなぎ養殖の占める割合が非常に高くなっています。

■ 全国と九州の海面漁業・養殖業及び内水面漁業・養殖業生産量の割合（令和2年）



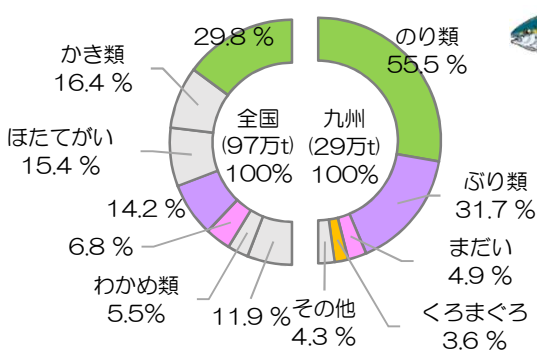
資料：農林水産省統計部「海面漁業生産統計調査」及び「内水面漁業生産統計調査」
 注：1 秘匿措置により公表されていない値は集計に含めていません。
 2 海面養殖は、種苗養殖を除きます。

■ 全国と九州の海面漁業漁獲量の魚種別割合（令和2年）



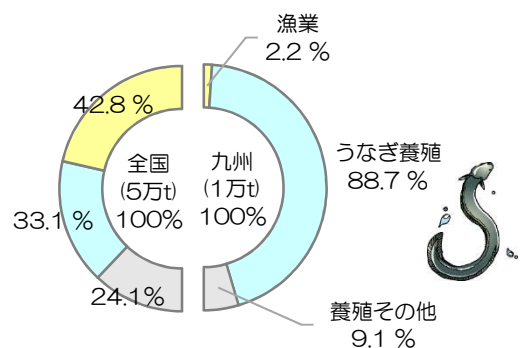
資料：農林水産省統計部「海面漁業生産統計調査」
 注：全国は10万t、九州は1万t以上の魚種を抜粋しました。

■ 全国と九州の海面養殖業収獲量の養殖種類別割合（令和2年）



資料：農林水産省統計部「海面漁業生産統計調査」
 注：1 全国5万t、九州1万t以上の養殖種類を抜粋しました。
 2 秘匿措置により公表していない値については、集計に含めていません。

■ 全国と九州の内水面漁業・養殖業生産量の割合（令和2年）



資料：農林水産省統計部「内水面漁業生産統計調査」
 注：秘匿措置により公表していない値については、集計に含めていません。

注：1) 漁業・養殖業における量の表現については、網や釣り針などを使う漁業により魚や海藻などを獲った量を「漁獲量」、養殖によるものを「収獲量」、漁業と養殖による量をまとめていう場合は「生産量」として表しています。
 2) 海面漁業生産統計調査では、漁業・養殖業を行う世帯や企業等が所在する地域別に計上しています。